

# 口ゴの正しい運用訴える

日本WPA

## 不正増加で声明文

### 水なし印刷の健全な発展へ

水なし印刷の技術開発、普及促進を図っている日本水なし印刷協会（依田英祐会長、略称・日本WPA）は、会員企業のみが使うことのできる専用ロゴの不正使用が最近目立つことから、このほど声明文を発表し、ロゴの正しい運用を訴えた。20日には記者会見を開き、不正使用の背景と協会の見解について発表した。

日本WPA会員が水なし印刷は使用規則を方式によるオフセット印刷知らずに、ロゴ物に限り使用できる「パタ」をスキヤニング「フライロゴ」（日本欧で商標登録）は、水なし印刷の普及に向けた世界共通のシンボルと言えらるものである。中には、水ありの印刷物に使用したり、会員企業固有の番号ご使用される例さえある。

#### パタフライロゴ

社に達し、それに伴いパタフライロゴを掲載した印刷物も急増している。ところが、2年ほど前から、日本WPAの会員ではない企業が、故意に、ある



記者会見で、左から日本WPAの副会長、依田会長、五百旗頭事務局長

「声明文「パタフライロゴの正しい運用」」

日本水なし印刷協会は、環境にやさしい水なし印刷の技術開発促進、普及を図っている印刷会社の団体です。2002年6月に発足し、現在では正会員125社、協賛会員18社で運営されています。米国に本部を置くWaterless Printing Associationとドイツに本部を置くEuropean Waterless Printing Associationとの国際的連携を持ち、水なし印刷の世界の普及を目指しています。

その象徴であるパタフライロゴは、日本でも商標登録されたロゴで、日本水なし印刷協会の会員に限り、水なし印刷で印刷した印刷物のみに付けられる環境保護のロゴです。また、このロゴは欧米で一定の認知を

20日の記者会見には、依田会長、奥継雄副会長、事務局の五百旗頭忠男事務局長、内田幸伸氏（東レ）が出席した。依田会長は、「日本WPAの活動は、水なし印刷がほとんど認知されていない

社から900社が発行しているが、その40%以上にパタフライロゴが採用されている」と、市場の広がりに触れた後、声明文の趣旨を次のように述べた。

「パタフライロゴの本当の目的を知らないまま、あるいは知っていても不正に使用する例が多く発覚している。このまま放置していると、日本WPAだけでなく、業界、市場に大きな

得た水準になっていきます。最近、このロゴを無断でスキヤニングし、これを水ありオフセットで印刷するという不正行為が発覚しております。そのつど、関係者に不正行為を指摘し、是正を求め、正しい運用の指摘

に当たっていますが、場合によっては、やむをえず、法的処置を講ずることもなげかねません。水なし印刷は廃液、排水を減少させるほか、工場内VOC発生を大幅に削減できる、大気環境に優れた

東京光沢 グリーン基準達成度を調査 現状分析、報告書作成へ

東京都光沢化工紙協同組合（宮本武紀理事長）は、7月から「印刷物光沢加工サーベイス・グリーン基準の達成度調査」に着手した。これは組合員の担当者に面前で聞き取り調査を行い、各社のグリーン基準各項目の進捗状況を把握するもので、より実態に即した形で

光沢加工業界のグリーン基準への取組むに対する達成度を定量的に調査すること



宮本理事長

が目的。調査結果は、専門家に依頼して分析を行い、その結果を報告書としてまとめる。現状分析の結果を今後、各社の経営、管理、教育、技術修得といった面で役立ていく形で整備し、将来的には外部への広報活動にも活用する。

「工程」印刷及び関連事業者の取組みの項目から、細分化容を各組合員企業にシナクを行う。口述の方式で進める。各社に「グリーン」保護に無記名とし「印刷物工サーベイス」グリーン」の各項目に沿って行調査結果の分析にサヒ・インターナショナル経営戦略研究所の理事長があたり、年報告書をまとめる意

**テス・パワダ集塵装置**  
(印刷機上乗タイプ)

- ◎平成における最新式集塵装置
- 全自動式ですからオペレーターの手をわずらわせない
- ◎据付・配管のスペース不用で工場内スッキリ
- 今、うわさのテス・装置をぜひおためし下さい。

株式会社 富田技研 〒143-0025 東京都大田区南品川2-1-8 電話 03-3778-2441(代)

## 大日本印刷 記者懇談会

前回は、こうした環境のなか、全社を挙げて省資源が引き続き好調であったこと増、営業利益は37.5億9.9億円（前期比6.7%改善）に取組んだ。

この部門の売上高は76減益であった。

【今期の見込み】



バーがないだけに、大きな転換期にきた印刷業界において、飛躍的な生産性向上システムと位置づけるところができる。

主な特徴は次のとおり。

①デバイスリンクプロファイルを使用した独自のRGB-CMYK変換技術により、一点あたり約十秒という変換速度の高速化を実現。

②CMYK変換時にICCプロファイルを使いながら、総インキ量/最大ブラック量/ブラック発生カーブなどの自由な調整可能。

③入力対応フォーマットは、一般的なTIF/EPS/JPEGだけでなく、各種デジカメのRAWデータにも対応。

④クオリティの低い不適

切な画像データも新たに開発した画像最適化技術により、クオリティの高い適切な品質の画像データに修正可能。

⑤正確にカラーマネジメントされたインクジェットプリンターから、同じ一枚の用紙上にRGBデータとCMYKデータを並べた出力が可能。

⑥無制限に作成できるマルチホットフォルダにより、ネットワーク上の他のコンピュータから自由に画像データのハンドリングが可能。

⑦カラーコレクションやアンシャープなど各種の画像処理機能をプラグイン形式で搭載しており、必要な機能の追加が可能。

村田憲治社長は「現在の

印刷業界は、高品質は当たり前であり、コスト競争力を付け、合わせて特徴を持った企業でなければ生き残れない時代になっている。そのために関連メーカーは、特徴のある本物のシステムを提供しなければならぬ。当社はデジコンProなどのカラープルーフを中心とした色管理技術を強みと考えており、今回のイメージハンドラーProで増大するRGBデータ入稿に対し、質が高く最適で均一なRGB-CMYK変換をはじめとするあらゆる画像処理作業の自動化と高速化を実現したいと考えている」とイメージハンドラーProによる画像処理作業の自動化と高速化を強調している。

て盛んに展開されている。これらの取り組みにおける共通項は、印刷メディアの価値を高めるという点にある。このような展開は印刷業界を挙げて取り組むべき事柄だが、不正使用という問題は、印刷業界自身でその信用を失うきっかけを作ることにもなりかねない。したがって、印刷業界内での一刻も早いルール作りとモラル向上が望まれる。なお、バタフライロゴは商標登録されているため、不正使用をすると、商標法に触れる可能性もある。

権利を守ると同時に、業界内外の人にも日本WPAの運動について正しく理解してもらえよう、今後も努めていく」と、バタフライロゴの不正使用により招く、業界および市場の混乱を未然に防いでいく姿勢を力強く表した。

同会では現在、このような不正使用が発覚した時にどのような対処を取るかどうかという明確な規約がないので、早急に規約整備することを予定している。日本WPAの奥継雄副会長は「個々の会員が、環境に優しい

印刷をしているということ、環境保護を意識している顧客に対して地道に提案をしてきた。これは、印刷をブランド化したいという想いが根底にある。この印刷物はどこで誰が刷ったものかをしっかりと示し、その環境に優しい方法で責任を持って作られているという品質保証という側面もある」と、同会の姿勢と方向性を改めて力説した。

同会をはじめとして、印刷に付加価値をつけるための働き掛けやブランドインク活動が、印刷業界において盛んに展開されている。これらの取り組みにおける共通項は、印刷メディアの価値を高めるという点にある。このような展開は印刷業界を挙げて取り組むべき事柄だが、不正使用という問題は、印刷業界自身でその信用を失うきっかけを作ることにもなりかねない。したがって、印刷業界内での一刻も早いルール作りとモラル向上が望まれる。なお、バタフライロゴは商標登録されているため、不正使用をすると、商標法に触れる可能性もある。

とを知り尽くしたメーカーが作ったCTPであり、ハイデルベルクの持ち前のCMSやワークフロー技術がいかに投入され、一貫して印刷人の為に作られている。平河工業社がスーパラセッター導入に至ったいきさつ、戦略的観点を、み

# 平河工業社が発表会

## CTPセッター導入効果PR

（株）平河工業社（本社・東京都新宿区、和田一社長）は六月六日、今年二月に新築した同社小竹事業所（東京都板橋区向原二丁目二番二）で「CTPセッター導入発表会」を開催した。会では、▽同社がこの度導入した、ハイデル

か」と題したシンポジウムを行い、来場した約一五〇人の参加者達は、熱心に見聞きしていた。会の冒頭、挨拶に立った同社の和田社長は、「弊社は、印刷会社の下請けの仕事を中心として営業をしてい

きつつ、戦略的観点を、み

### 読者プレゼント

#### 「始皇帝と彩色兵馬俑展」

江戸東京博物館

八月一日から十月九日まで、東京の江戸東京博物館（東京都墨田区横綱一ノ四ノ二）で「驚異の地下帝国始皇帝と彩色兵馬俑展—司馬遷『史記』の世界—」が開かれる。同展は、『史記』を背景に、最新の文物資料を展覧して文献史学と考古学の接点を探り、新たな歴史像を示そうとするもの。『史記』との接点となる各時代を代表する彫塑、装飾品、武具、生活用品、



お申込みは、住所・氏名・電話番号を明記の上、新聞制作部・FAX〇三三—五五三—五八四まで。（写真は「彩色騎馬俑」前漢・前2世紀/漢陽陵考古陳列館）

#### 「モダン・パラダイス展」

東京国立近代美術館

「モダン・パラダイス展」大原美術館十東京国立近代美術館—東西名画の饗宴—が八月十五日から十月十五日まで東京国立近代美術館で開かれる。

この展覧会は近代コレクションにおいて日本を代表する同館と大原美術館（岡山県倉敷市）の「コラボレーション」により実現したものである。近代美術のもつ五つ特性をテーマに、両館選りすぐりの名品（絵画・彫刻・写真）百点を制作年代、作



は「ボール・ゴージャン《かくわしき大地》一八九二年 大原美術館蔵」

## バタフライロゴの正しい利用方法

不正使用を防止し、正しく使用するために定められた使用規則をお守りください。

選択肢!

に努める  
ットーと

